

2019年度国際がん研究シンポジウム

がんゲノム医療の 現状と未来

2020.3/26(木)・27(金)

国立がん研究センター研究棟

1F大会議室 (東京都中央区築地)

- ・参加費無料
- ・事前申込制 (裏面よりお申込み下さい)
- ・講演は英語のみ。同時通訳なし。

2020.3/26 (木) 【1日目】 13:00-16:45

Session 1 Cancer Genomic Medicine in Japan 座長：土原一哉 (国立がん研究センター先端医療開発センター)

- ・河野隆志 (国立がん研究センター研究所) 「遺伝子パネル検査と意義不明変異への挑戦」
- ・織田克利 (東京大学大学院) 「東大オンコパネルの先進医療Bの経験と今後の展望」
- ・池田貞勝 (東京医科歯科大学医学部附属病院) 「がん遺伝子パネル検査の臨床応用」

Session 2 New Sequencing Platform 座長：河野隆志 (国立がん研究センター研究所)

- ・市村幸一 (国立がん研究センター研究所) 「小児固形がんの分子診断・リスク分類を目的としたゲノム・エピゲノム検査の開発」
- ・片岡圭亮 (国立がん研究センター研究所) 「造血器腫瘍における臨床シーケンスと問題点」
- ・西原広史 (慶応義塾大学) 「がんゲノム医療における全エクソン解析の臨床実装」

2020.3/27 (金) 【2日目】 10:00-15:30

Session 3 Implementation of Precision Medicine 座長：西原広史 (慶応義塾大学)


- ・遠山仁啓 (アマゾンウェブサービスジャパン (株)) 「クラウドがもたらす新時代の医療」
- ・谷嶋成樹 (三菱スペース・ソフトウェア (株)) 「リアルワールドエビデンスを取り込むがんゲノム知識データベースの開発」
- ・中村清吾 (昭和大学) 「我が国におけるHBOC診療の現状と将来展望」
- ・野村尚吾 (国立がん研究センター研究支援センター) 「Hybrid/Synthetic対照群としてのがんゲノム“Real World”データの利活用」

Session 4 Real World Evidence for Precision Medicine 座長：間野博行 (国立がん研究センター)

- ・Dr. Woong-Yang Park (Samsung Genome Institute/ Samsung Medical Center, Korea) 「統合された臨床ゲノムデータベースを用いた生殖細胞変異と癌治療反応との関連」
- ・Dr. Tony Loeser (Syapse Inc., USA) 「米国におけるリアルワールドデータの展望と活用の展開」
- ・松本慎吾 (国立がん研究センター東病院) 「LC-SCRUM-Japan/Asiaの成果と挑戦」

お申込み / お問い合わせ

(公財) がん研究振興財団シンポジウム事務局 Tel: 03-6228-7297 mail: info@fpcr.or.jp

【主催】  公益財団法人がん研究振興財団



2019 年度国際がん研究シンポジウム 参加申込書

FAX:03-6228-7298 下記をご記入の上、ファックスにてお申し込みください。
E-mail:info@fpcr.or.jp メールの場合は下記の内容をメールにてお申し込みください。

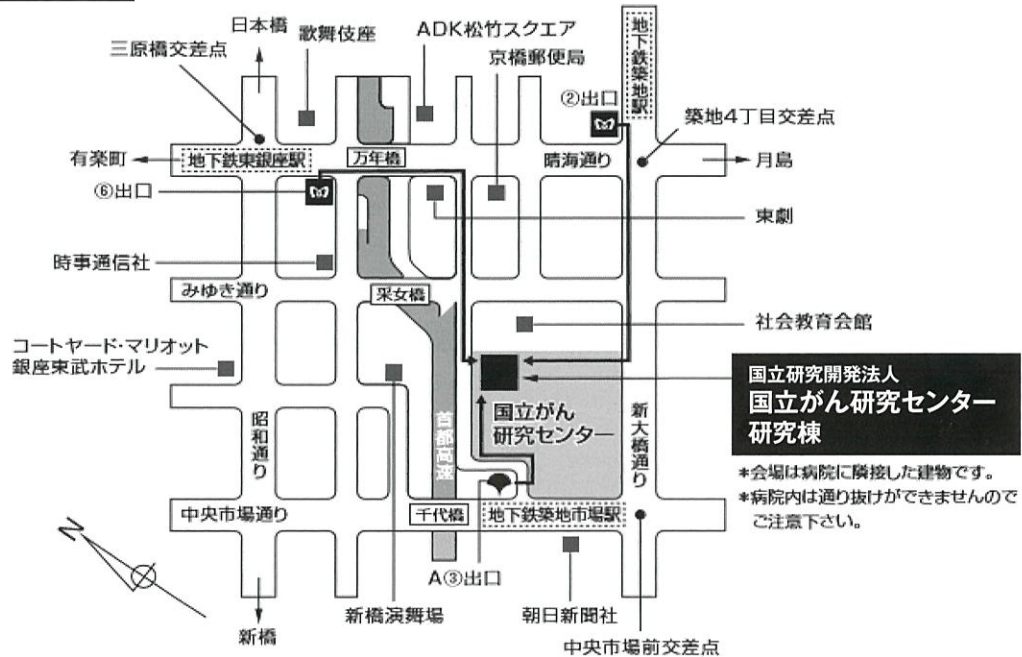
＜開催会場＞ 国立がん研究センター研究棟1F 大会議室
(東京都中央区築地 5-1-1)

枠内をご記入ください。

ふりがな	所属先名称		
申込者名	参加予定(わかる範囲で○をお願いします)		
電話番号	3/26(木)	3/27(金)	
E-mail			

※受付完了の返信をメールでご連絡致します。当日は受付でお名前をお知らせ下さい。

会場案内図



- 都営地下鉄 大江戸線 築地市場駅下車(A③出口)徒歩2分
- 都営地下鉄 浅草線 東銀座駅下車(⑥出口)徒歩7分
- 東京メトロ 日比谷線 築地市場駅下車(②出口)徒歩6分
- 東京メトロ 日比谷線 築地市場駅下車(②出口)徒歩6分